

33rd 東京学生映画祭

2022.8.20-8.21
@EuroLive

宇宙でいちばん
純粋。

東京学生映画祭

E
プ
ロ
グ
ラ
ム

8/21
(日)
16:35
?

"100点"に1番近い時間を、最期までキミを。



10歳の少女ツキは生まれた時からずっと一緒に暮らしていた飼い猫のミミを亡くすが、実感が湧かずに火葬場の煙を見つめ立ち尽くしていた。しかし、ふと気がつく

とツキは水辺のほとりについて、ミミにそっくりな柄のネコという不思議な存在と出会う。困惑しているツキにネコは「大丈夫! これからツキちゃんのこと僕がお家まで送るから」と言い、ツキの手を取り2人は旅に出るが...

『COMPASS』

監督:荒川ちか

日本大学/2021/15min



車のなか、ふたり。



車に乗るある男女の会話。カーラジオからは2人の思い出のラジオが流れている。

『私はたぶん絶対にかわいい』

監督:堀内友貴

東放学園映画専門学校/2022/15min



C地点から見る、クラスのあの子



同じ高校で仲良くあったジュンとナナとコウ。当たり障りのない生活が過ぎる日々。ある日補習をさぼって海に来た3人。そこでジュンはナナが彼氏を殺す夢を見る。クラスにいる普通の子。少し変わっているなどしか認識していなかったあの子の話。

最初からそこにあつたのに、見ようとしなかった彼らの話。

『C地点旅行記』

監督:松本帆乃夏

武蔵野美術大学/2022/36min



止まらない自分との対話



自分の感覚が鈍ってきていることに彼女はいち早く気づいていた。ここ数日、人と話をしすぎたのかもしれない、ひとりであるのも人との結晶ひとりに戻りたくなる自分は孤独が好きなのだろう

かと、ある種の危機感のようなものを感じる。彼女が自分自身に正直であるのは、自分自身への囚われであり、執着であり、不安であり、宿命である。

『Episodic memory』

監督:鈴木理利子

武蔵野美術大学/2022/23min



チケット情報

お問い合わせ:tougakusai@gmail.com
080-1342-8521
東学祭HP (<https://tougakusai.jp>)

pass market



<https://onl.la/FqF5y1g>

前売り券 (pass marketにて販売)	大人:1000円	学生:500円
	招待作品 1500円	
当日券	大人・学生共に	1500円
	招待作品 1800円	

会場: EuroLive (ユーロライブ) アクセス: 渋谷駅から徒歩約10分

名称: 第33回東京学生映画祭
主催: 第33回東京学生映画祭企画委員会
協賛: FELLOWS CREATORS AGENT since 2003

NCW

東急エージェンシー

tyo

TFC 東北新社

DOKUSO 映画祭

東放学園映画専門学校

後援: 特定非営利活動法人ジャパン・フィルムコミッション/一般社団法人日本映画テレビ技術協会/
特定非営利活動法人映像産業振興機構(VIPO)/一般社団法人日本映画製作者連盟

協力: 有限会社キッチュムービーコレクション/スタジオ地図LLP/学習院大学新聞社/
株式会社GYAO/株式会社ビデオマーケット/株式会社ニチホランド/株式会社U-NEXT/東京FILMeX

Aプログラム

ペールから始まる、一人の少女の静謐で豪胆な物語



中学2年生の矢野梓は、祖母・矢野螢と2人で静かな暮らしをしている。ある日、梓は蛍のタンスからウエディングペールを見つけた。毎日学校帰りに、花屋の前に座っている謎の少女を盗撮している梓だが、ペールの発見以降少女と放課後の時間を共に過ごす仲になっていく。『この花ね、昔、子供が中に密閉し込めて家に持って帰ったんだって』梓は少女に「ほたる」と呼び名をつけ、ライターを覗きながらペールを頭に被る彼女の後を追いかける。

『カンパニウラの少女』

監督：安本未玖

京都芸術大学/2022/45min



蘇る、少年の日の記憶。



長いこと大都会を彷徨っている直人は、いつも、苦しい少年時代に自分に過かか接してくれた友人のタクミのことを思い出していた。しかし、そのタクミもいつしか跡形もなく直人の生活から消え去ってしまった。それは直人が抱えている心の蟬りとなった。直人はタクミを探すために故郷に戻った。記憶の舞台となった場所、記憶と現実が交錯し、すべてが美しい昔に戻っていくようであった。

『ただいま』

監督：劉波

武蔵野美術大学/2022/48min



Bプログラム

救世主か、それとも悪魔か



「私にとってこの世界は、何もかもまがいの世界なんです」
鏡を見ると相手の隠し事・嘘を文字として浮かび上がらせる力を持っている高校2年生、倉田廻麻。
力を手にしてというからというものの極度な人間不信となっていました。彼女は、ある日嘘をついた事が無い少女、正羅と出会う。正羅との交流を通して廻麻は少しずつ心を開いていくが…。

『えんまさん』

監督：鈴木智貴

立命館大学/2022/75min



Cプログラム

「なんか夏っぽいことしたくないですか？」



あの日の夜はちょっとだけ特別だった。夏の終わりを目の前にした若者たちの人間模様。
予定していた面接が急遽延期になった就活生の山ノ辺とキミ。野球部のマネージャーだった漂子に電話をかける秀一。コンビニでバイト中の健斗とキョーコ。海の近い町で、それぞれの忘れられない一晩が過ぎていく。

『明ける夜に』

監督：堀内友貴

東放学園映画専門学校/2022/95min



Dプログラム

希望をハナクソの毎日に



ある夏の群像劇。ハナクソみたいな私たちの日々、ひととひとのhopeを。

『HA・NA・KU・SO』

監督：オダママネ

東京藝術大学大学院/2022/7min



蟹の眼の奥で



『蟹』の幻覚に溺れていく男と、それを見つめる女の情念を描いたアニメーション作品。多様な質感が混ざり合う不条理な空間が漂っていくなかで、男女の存在が生々しく揺れ動く。

『蟹眼』

監督：前田青空

日本大学/2022/12min



サカナの腹から広がる優しさ愛情



魚の腹の奥底に暮らす、豚、魚、オタマジャクシの三人家族の物語。ある日突然、漂着した果実を皮切りに彼らの暮らしは一変する。

『サカナ島胃袋三陽目』

監督：若林萌

東京芸術大学大学院/2022/17min



風いだ川の光をゆらす。



家族を亡くし、死を受け入れられない少年と、火葬場でたった一人死と向き合い続けている老人が出会う。川風ぐ火葬場で、少年と老人はお互いの境遇を重ね合わせていき、死という事実に向き合い始める。少年が初めて死と向き合うとき、風んでいた川が流れ始める。

『川風ぐ火葬場』

監督：はるおさき

武蔵野美術大学/2022/13min



特別招待作品



『時をかける少女』 数々の映画祭で賞を席巻した

2006/ 98min

青春映画の傑作を東学祭で上映!

高校2年生の夏、真琴(まこと)は、医学部志望の功介(こうすけ)、春に転校してきた千昭(ちあき)という二人の同級生と遊び友達として楽しく毎日を過ごしていた。ある日、真琴は、故障した自転車で遭遇した踏切事故の瞬間、時間を跳躍する不思議な体験をする。叔母の芳山和子(よしやまかずこ)に相談すると、それは「タイムリープ」とい、年ごろの少女に「よくあること」だと言う。真琴は、手に入れたその力をソワてない日常のささいな不満や欲望の解消に進んで使い始めるようになった。突然おとずれたパラ色の日々。
ところが、タイムリープでできる回数には限度があったのだ一。



撮影/神藤 剛

細田守 監督

©「時をかける少女」製作委員会2006

応援コメント



城定秀夫

映画監督

昨年度は審査員として、商業映画にはない魅力を持った作品に数多く触れる大変有意義な体験をさせて頂きました。映画を作るのは大変です。お金はもちろん、時として友人や恋人を失ったりもします。それでも人は映画を作り続けるのはなぜなのでしょう? 東京学生映画祭はこの原初の問いに答えようとしている気がします。そして、映画は観客に出会うことで初めて映画たりえます。今年も皆さんの映画に素敵な出会いがありますように!

ゲスト審査員

長編・短編部門



瀬村敬久

映画監督



杉野希妃

映画監督/俳優



三宅隆太

映画監督/脚本家



撮影/神藤 剛

細田守

アニメーション映画監督



岩井澤健治

アニメーション映画監督

応援コメント



磯村勇斗

俳優

映画は人と人を繋ぐ力があると思います。現場で出会う人はもちろん、作品を観て下さったお客様もそうです。映画を通して人間関係が生まれる。とても面白い事であり、大変な事です。でも仲間を信頼して、愛を持って創作する楽しさ。その後には必ず、あなたが作る作品を楽しみにしている人がいます。若い皆さんが放出する「映画の力」で、世界を少しでも変えていきましょう。僕らと共に。